

【経済産業大臣表彰】

《がんばる中小企業・小規模事業者300社》

○池田食品株式会社

北海道札幌市白石区中央1条3丁目
代表取締役社長 池田 光司
URL: <http://www.ikedac.co.jp/>

(会社概要)

創作豆菓子等の加工・販売を行う老舗企業。主力商品は豆菓子、タマゴボーロ、かりんとう。「焼カシュー(ナッツ)」「カレーカシュー」等が人気商品。地域の生産者等と連携して、地域の素材を最大限活用。高度な加工技術・ノウハウにより高付加価値なお菓子づくりに取り組んでいる。

(選定理由)

「札幌市民に愛されるお菓子づくり」という目標を掲げ、「札幌豆くらすたあ研究会」等を通じて、地元の生産者や流通業者を巻き込み、地元の素材を最大限活用した創作豆菓子やかりんとう等を開発・販売。農業生産者から全量買取契約や生産者の輪作体系が維持できるよう積極的に複数の作物を調達するなど、連携農業者の経営・生産の安定化に向けて取り組んでいる。

地域活性化

中小企業者

豆ちょこ(左:莓、右:きなこ)



○エコモット株式会社

北海道札幌市中央区北一条東2丁目5番2号
代表取締役 入澤 拓也
<http://www.ecomott.co.jp/company/>

(会社概要)

主に、融雪装置を遠隔操作できるシステム「ゆりもつと」を開発し、北海道や東北などの積雪地域向けに販売している。併せて、そのシステムの利用者に変わり、操作を代行するサービスも手がけている。

(選定理由)

エコモット株式会社は、自社開発したシステムによって、雪国の人々が抱えていた融雪にかかる負担を解消した。加えて同社では、システム操作を代行するサービスを提供しており、融雪にかかるいっさいのユーザーの負担や手間も解消している。

ものづくり

小規模事業者



○エゾシカ食肉事業協同組合

北海道斜里郡斜里町新光町51番地1
理事長 曾我部元親
<http://www.yezodeer.jp/>

(会社概要)

エゾシカ食肉事業協同組合は、組合員8社で構成し、各社が行う計画的な食肉生産を可能とする共同販売、処理場の共同検査、ホームページや商談会による共同宣伝、新製品の研究開発等を実施している。

(選定理由)

エゾシカ食肉事業協同組合は、道内の中小食肉処理事業者で組織し、食肉の衛生処理と検査体制を確立している。品質の確かな製品を安定的に供給、行政や大学、小売業者、飲食店等との連携を通じてシカ肉の普及啓蒙と消費拡大を推進している。農業被害など多大な社会問題となっているエゾシカの適正数維持の一翼を担い、人とエゾシカとの共生に貢献するなど地域活性化へ大きく寄与している。

地域活性化

小規模事業者



○オサダ農機株式会社

北海道富良野市字西扇山の1
代表取締役社長 長田 秀治
<http://www.osada-nouki.co.jp/>

(会社概要)

昭和47年に南富良野町で創業した自動車整備工場が同社の前身である。その後地元よりニンジン収穫機の開発を要請されたことが契機で、平成2年より農作物の収穫機製作の事業に本格的に取り組んでいる。

(選定理由)

オサダ農機株式会社は、機械開発にあたって地元農家と連携し、農業生産者のニーズの高いニンジン収穫機、大根収穫機、生食用スイートコーン収穫機等を開発・販売し、農業生産者の省力化、農作業の効率化に貢献している。自走式大型ニンジン収穫機においては唯一のメーカーとして、「国内シェアNO.1」などユーザーから高い評価を得ているほか、近年は台湾への輸出や、欧州市場へのチャレンジなど海外展開についても積極的に取り組んでいる。

地域活性化

小規模事業者

生食用スイートコーン収穫機



○曲イ田中酒造株式会社

北海道小樽市信香町2番2号
代表取締役 田中 一良
<http://www.tanakashuzo.com/>

(会社概要)

明治32年創業の老舗造り酒屋で北海道産の原料にこだわり「北海道産原料100%使用」で酒造りを行っている。酒造技術を活用した発酵食品の研究・開発及び販売のほか観光客向けの製造・直接販売に注力している。

(選定理由)

田中酒造株式会社は、北海道の農業試験場・食品加工研究所及び農家と連携し、北海道産酒造好適米の新品種の育成、同米による清酒づくりを行うほか、道内各地の特産原料を使用した酒類づくりなど、北海道の資源活用に注力しており、また店舗・製造場を改造して観光需要の取り込みを図るなど、様々な地域、機関と連携し、お酒を通じた地域活性化への取組を行っている。

地域活性化

中小企業者



○株式会社環境ダイゼン

北海道北見市端野町三区438-7
代表取締役 窪之内 覚
<http://kankyo-daizen.jp/>

(会社概要)

牛尿を原料とする「バイオ活性水」に消臭力があることに着目し、従来にないバイオ消臭液「きえーる」として商品化し販売。その他、木酢液を利用した入浴剤も開発。

(選定理由)

株式会社環境ダイゼンが商品化した「きえーる」は、天然の酵素・酵母菌・乳酸菌の100%自然成分のみで作られた安心無害な消臭液で、悪臭を発生させる様々な有害菌の増殖を抑える。牛尿による河川の汚染対策にも貢献している。売上も順調に伸びてきており、小規模企業ながら海外展開にも挑戦する等意欲あふれる企業である。また、日本赤十字北海道看護大学等とも連携し、震災被災地の支援に当たる等社会貢献にも前向きである。

ものづくり

小規模事業者



「バイオ消臭液きえーる」
ワンスプレーで瞬間消臭
極寒の地で活発に増殖する、最強のバイオパワー！

○有限会社釧路フィッシュ

北海道釧路市大楽毛11-31
代表取締役 片倉 妙子
<http://www.kushirofish.com>

(会社概要)

主にスケトウダラなどの地元水産物を利用した食品製造を行っている。規格外の魚を活用するために外部の研究機関と連携しスケトウダラを原料とする魚味噌を開発。これをチーズやサンマなどと組み合わせて商品開発を続け、これまでに数十種類の商品を生み出している。

(選定理由)

有限会社釧路フィッシュは、外部の研究機関や大学、漁業、畜産業といった他業種とも連携して、規格外の魚など、これまで商品価値のなかった資源の活用を積極的に行っている。また、商品には地域の伝統料理などを取り入れるほか、製造過程で高齢者や障がい者を活用するなど、地域の食文化や人材を活かした事業活動を行っている。

地域活性化

小規模事業者



○株式会社クリエイティブオフィスキュー

北海道札幌市中央区北2条東3丁目
代表取締役社長 鈴木 亜由美
<http://www.office-cue.com/>

(会社概要)

平成4年の創業以来、北海道を本拠とする芸能プロダクションとして、地域に根付いたマネージメント業務を展開するとともに、自社独自のコンテンツ制作及び関連諸事業を展開している。

(選定理由)

株式会社クリエイティブオフィスキューは、「地域に根ざし北海道からエンターテイメントを発信する」ことを目標に業務を展開している。所属タレントの東京進出に伴い、大手である株式会社アミューズとの業務提携を果たすが、あくまでも北海道を地盤とする芸能プロダクションとして、独自コンテンツ制作等により新たな市場を開拓し、地方に立地する同業他社に変革をもたらしている先駆的な企業である。

サービス・小売等

中小企業者



○訓子府機械工業株式会社

北海道常呂郡訓子府町東町1番地1
代表取締役 松田 和之
<http://www.kunneppukikai.com/index.html>

(会社概要)

農業機械、食品加工機械の設計・製造を手掛ける。主力製品として、玉葱及び馬鈴薯の根切り・収穫・茎葉処理機械(オニオンピッカー・ポテトピッカー)等があり。平成24年には、「第四回ものづくり日本大賞～地域貢献賞」を受賞している。

(選定理由)

訓子府機械工業株式会社は、斯業界では知名度抜群の農業機械メーカー。製品技術面では道内有数のメーカーであり、定期的に各種メディアに取り上げられる他、過去に「北海道知事賞」、北海道経済産業局主催「第四回ものづくり日本大賞～ものづくり地域貢献賞」を受賞。

ものづくり

中小企業者



○ケントクリエーション株式会社

北海道札幌市中央区南1条西20-1-6コミュ120ビル601
代表取締役 吉田 浩憲
<http://guesthouse-japan.net>

(会社概要)

食事付き宿泊所の紹介サイト「ゲストハウスJAPAN」を運営し、各地の下宿をつなぐ役割を果たしている。全国に6,240室ものネットワークを有し、学生だけでなく、企業の長期出張者向けに宿泊所を提供するなど、新たな下宿ビジネスを展開している。

(選定理由)

ケントクリエーション株式会社は、「木造で四畳半」「古き良き時代のもの」というイメージが強い下宿業に、2002年に参入した。少子化による学生数の減少もあって、業界は衰退傾向にあったが、同社は、従来にないサービスを提供することで、企業の出張者という新たな顧客層を開拓し、成熟した業界において、新たな発想により市場を創出した。

サービス・小売等

小規模事業者



○佐藤鋳工株式会社

北海道雨竜郡妹背牛町356番地
代表取締役 佐藤孝造
<http://www.satochuko.co.jp/>

(会社概要)

石炭ストーブの鋳物部品を製造する家族経営の町工場から、農業機械部品、さらに自動車部品の量産を手がける工場へと成長。品質管理体制の構築と継続した研究開発を通じて、トヨタ自動車をはじめとした自動車業界の高度な要求に応え続けている。

(選定理由)

佐藤鋳工株式会社は、社内体制構築、作業の標準化、製品管理ルールの改善・徹底等を通じてQ(品質)・C(コスト)・D(納期)の向上に取り組むことで、営業面・物流面で不利な北海道内陸の小さな町の「鋳物屋」から、トヨタ自動車Tier1企業の地位を確立した。

ものづくり

中小企業者



○株式会社篠田興業

北海道標津郡標津町南2条東1丁目2番1号
代表取締役社長 篠田 静男
<http://www.melodyroad.jp/>

(会社概要)

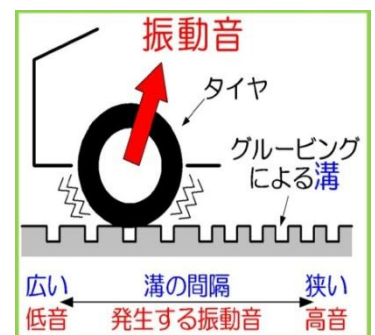
土木機械のリース業から主体を土木事業へ転換し業績を上げてきたが、近年の公共事業削減による厳しい経営環境下で財務体質の強化を進めながら、積極的な新分野進出・新事業展開を図り公共事業依存からの脱却という経営革新を実現させた。

(選定理由)

株式会社篠田興業は、新分野進出・新事業展開に当たっては、様々な機関や支援制度の活用により、事業計画を第三者の評価に委ねて実現性を高め、初期投資のコストを抑えている。また、地域的・社会的ニーズを踏まえた公益性のある取組によって得られた信用により外部協力者との連携やネットワーク構築を着々と進めている。

ものづくり

小規模事業者



○株式会社ソプラティコ

北海道小樽市花園4丁目17-3
代表取締役 大場隆志
<http://www.sopratico.com/index.html>

(会社概要)

スポーツ施設運営、キッズパーク及び託児所運営、各種スクール運営、エンターテイメント・写真撮影・映像制作・音楽制作等を企画運営。

(選定理由)

株式会社ソプラティコは、従来の事業形態にとらわれることなく、顧客と従業員満足度の向上を叶える社風と、それを具現化する仕組みを有している。フィットネス事業のみならず、エンターテイメントや託児所、また近年では介護施設などの異業種との融合によって、地域の実態に沿った健康づくりを提案するなどあらたな形態のサービスを展開。子育て世代の女性や高齢者などからの評価も高い企業である。

サービス・小売等

中小企業者



○株式会社タナカコンサルタント

北海道苫小牧市新開町2丁目1番3号
代表取締役社長 堀内 秋治
<http://www.tanakaconsul.co.jp/index.htm>

(会社概要)

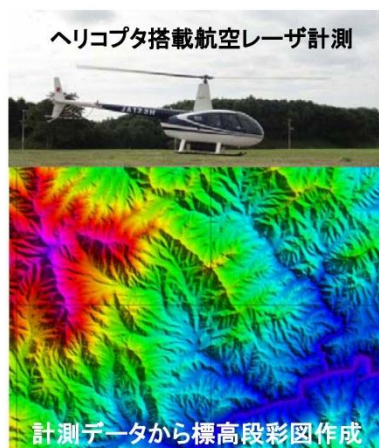
測量調査事務所として創業し、苫小牧東部開発の関連業務の受注等により業容を拡大。現在は主に公共工事関連の測量、土木設計、地質調査、環境調査、ITソリューション、三次元計測等を受注。

(選定理由)

株式会社タナカコンサルタントは、無人ヘリなどによるデータ計測やデータ解析のノウハウ・技術などにより設備を導入しただけでは容易に模倣することができない高密度・高精度の測量サービスを提供している。こうした技術・高いサービスが評価され、道内のみならず、震災被災地、西日本の崩壊危険区域など道外での受注も増加しており、防災・減災に資する社会貢献の取組を行う企業としても注目される。

サービス・小売等

中小企業者



○有限会社東洋油圧機工

北海道河西郡芽室町東芽室基線7-11
代表取締役社長 横井 正

(会社概要)

昭和50年の設立以降、持ち前のアイデアで次々に製品を開発。原木伐採から積み込みまで1台で行う木材伐採機械やクレーン付セルフローダーなど油圧技術を活用した様々な特装車を作成し、新たな商品を生み出している。

(選定理由)

有限会社東洋油圧機工は、特殊車輛の製造を得意としており十勝という地域を活かし、肉牛枝肉の懸垂運搬車を開発した。長さ3m、重さ200kgを超える枝肉を吊り下げたまま運搬することが可能となり枝肉の品質低下防止にも繋がっている。同車輛の評判を聞きつけ、遠く九州や沖縄からも直接受注している。

ものづくり

小規模事業者



○北海道ワイン株式会社

北海道小樽市朝里川温泉1丁目130番地
代表取締役社長 鳥村 公宏
URL <http://www.hokkaidowine.com/index.html>

地域活性化

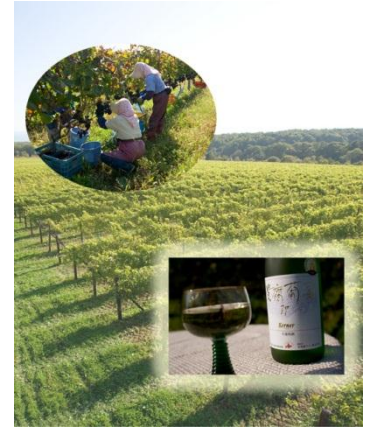
中小企業者

(会社概要)

国産葡萄を100%使用した純国産ワインを主力とし、発泡酒、地ビールを製造・販売。ワイン原料の供給基盤として、日本一の面積を誇る直轄葡萄園「鶴沼ワイナリー」を所有する他、道内300戸以上の契約農家とともに葡萄栽培に取り組み、国産葡萄の使用量では日本一の実績。

(選定理由)

北海道ワイン株式会社は、寒冷環境に対応できるドイツのワイン用品種の葡萄栽培を地域に根付かせ、道内約300戸の契約農家とともに、北海道のワイン専用葡萄の栽培を日本一の生産量にまで牽引した。また、未利用資源であるワイン製造残渣を活用した新製品の事業化や、自治体や地元飲食店と連携した観光振興など、ワイン造りによる地域活性化に大きく貢献している企業である。



【経済産業大臣表彰】

《がんばる商店街30選》

○帯広電信通り商店街振興組合

北海道帯広市

(商店街概要)

会員数: 38名

店舗数: 47店舗

関連URL: <http://www.denshindoori.com/index.html>

明治15年の「晩成社」開拓団入植の地に発祥し、帯広の歴史とともに地歩を築き、昭和46年に組合としてのスタートを切った。当商店街はJR帯広駅から北東1.5km、明治30年の街道整備に伴い市街地初の電信柱が立ったことから「電信通り」と呼ばれる通り沿い450mほどに位置し、本願寺帯広別院の門前町としての顔を持っている。古くから帯広の商業集積の一翼を担い、近隣型の商店街として地域に愛されている。

(選定理由)

電信通り周辺地区の人口減少、街区内の高齢者比率の高まりや住民のニーズを特色に出して、「お年寄りや障がいのある方と協働・共生する商店街」をコンセプトに、「働・食・住が揃い、地域貢献が出来る場」づくりを目指している。商店街振興組合主導で社会福祉法人や障がい者支援団体等と積極的な連携を図るなど、様々な事業に意欲的に取り組んでおり、障がい者を中心に40人にも及ぶ雇用を創出するなどの成果を挙げている。

商店街

